

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	村山 サンドラー 先生 TEL：03-3376-2244	目黒日大中学高等学校 東京都目黒区目黒1-6-15	天野 正貴 先生 TEL：03-3492-3388
東洋高等学校 東京都千代田区神田三崎町1-4-16	石井 和彦 先生 TEL：03-3291-3824	中村中学・高等学校 東京都江東区清澄2-3-15	江藤 健 先生 TEL：03-3642-8041
桜丘中学・高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	石田 修一 先生 TEL：03-3910-6161	文教大学附属中学高等学校 東京都品川区旗の台3-2-17	千葉 悟 先生 TEL：03-3783-5511
光英VERITAS中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	本間 明信 先生 TEL：047-392-8111	金沢工業大学国際高等専門学校 石川県金沢市久安2-270	志鷹 英男 先生 TEL：076-248-1080
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	田邊 隆 先生 TEL：03-3263-3011	(株)私塾界 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	山田 未知之 様 TEL：03-3987-0838
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	馬崎 郁朗 先生 TEL：048-737-7611	デザインオフィススズキ 千葉県柏市柏687-6	鈴木 学 様 TEL：090-8104-0517
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	小泉 岳司 先生 TEL：03-3312-1111	(株)POPER 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	中田 淳一 様 TEL：03-6265-0951
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲2-14-1	横山 孝治 先生 TEL：03-3717-1196	(株)塾と教育社 東京都新宿区下宮比町2-28-807	加藤 麻由美 様 TEL：03-6265-6855
東洋大学京北中学高等学校 東京都文京区白山2-36-5	井出 秀己 先生 TEL：03-3816-6211	教育開発出版(株) 東京都杉並区下高井戸1-39-12	糸井 幸男 様 TEL：03-3304-5291
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	三浦 圭 先生 TEL：03-3762-7336	(株)クロノクリエイト 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	添田 大亮 様 TEL：03-5468-6986
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区王子6-7-14	大矢 忠和 先生 TEL：03-3911-5196	(株)声の教育社 東京都新宿区新小川町8-15	三谷 潤一 様 TEL：03-5261-5061
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	田上 克哉 先生 TEL：03-3467-2130	アロー教育総合研究所 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	田嶋 裕 様 TEL：03-3259-2851
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充 先生 TEL：03-3782-1502	(株)インフィニティライフ 東京都新宿区四谷4-3 エクシーナ四谷1001	高木 直人 様 TEL：03-6380-5894
芝国際中学高等学校 東京都港区芝4-1-30	川上 武彦 先生 TEL：03-3451-0912	デジタルハリウッド(株) 東京都千代田神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティアカデミア4F	西 彩音 様 TEL：03-5289-9267
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允 先生 TEL：03-3828-4141	ライフイズテック(株) 東京都港区南麻布2-12-3 南麻布ビル1F	小林 知晃 様 TEL：03-5877-4879
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫 先生 TEL：03-3658-4111	FLENS(株) 東京都港区港南2-16-5 NBF品川タワー5F	菊政 夏希 様 TEL：03-5718-7500
品川学藝高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	宮川 麻衣子 先生 TEL：03-3786-1711	(株)ウーマンプラスアルファ 東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2F	菊地 香江 様 TEL：03-6403-9067
立正大学付属立正中学高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	今田 正利 先生 TEL：03-6303-7683	(株)ブロッサム横浜 東京都町田市南町田3-11-25	平川 基樹 様 TEL：042-788-8739
二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	車田 忠継 先生 TEL：03-3261-9288	教育百貨店 神奈川県横浜市西区浅間町1-14-16 ブルーローズ802	平野 夏紀 様 TEL：090-6574-3010
自由学園 中等科・高等科 東京都東久留米市学園町1-8-15	更科 幸一 先生 TEL：042-422-3111	(株)Lacicu 東京都千代田区東神田1-2-10 泰岳ビル5階	服部 悠太 様 TEL：03-5829-6992
京華学園 東京都文京区白山5-6-6	今野 巖 先生 TEL：03-3941-6493	リカベスク 埼玉県越谷市レイクタウン2-24-3	田中 龍之介 様 TEL：080-5699-6872
千代田中学・高等学校 東京都千代田区四番町11	岡田 孝子 先生 TEL：03-3263-6551		



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット 広報

2025
July
No.88

誌上研修
全国塾長 第22回
職員研修大会
[04.20 Sun]

親子とともに
奥田 健次
Okuda Kenji
変えよう、
教育のあたりまえ
よい育ち

基調講演

奥田 健次

Okuda Kenji



理事長コラム



令和7年4月20日(日)の全国研修会に先立ち、第34回代表者会議が執り行われました。議案が全て無事に承認され、新年度の活動を行ってまいります。

なお、理事長職は2年任期2期までとなっております。今年が私、田中の最後の年となります。最後の1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今期の課題として会員数の減少に伴い、来年度に向けて部署などを整理しスリム化することを相談していきたいと考えています。忌憚なきご意見賜れば幸いです。

毎年変わりませんが、一番の願いはエリア内、そして、他エリアの活動にぜひご参加いただき、ご縁を深められることを願っております。活動予定にスケジュールが記されております。予定を空けておいてくださると嬉しい限りです。

全国研修会でご講演くださった奥田健次先生が、12月10日(水)のさやか星小学校のOPEN DAYをご紹介されました。この日もしくは別日で「さやか星小学校・サムエル幼稚園」を見学できればと考えています。

昨年度と変更された今年度の活動(抜粋)

◆広報改革の継続

- ・負担を少なくするために年4回発行していた広報を今年は年3回になります。
- ・紙ベースでの広報からデジタルベースでの広報への移行も考えます。具体的にはメールやメールでの添付で情報の交換をし、それを年間1冊の冊子にまとめるなどです。

◆余剰金の会員への還元と会費の再考

- ・今年度繰越金が1,633,435円あります。余剰金に対して税務署に指摘された場合税金がかかるのではないかと懸念されています。税理士に聞いたところ、会費だけで運営されているのであれば収益事業を行っているわけではないので問題は無いはず、しかしあくまでも税務署それぞれの判断なので不安であれば名前を伏せて税務署に問い合わせるとよいとのでした。
- ・しかし監査役からも余剰金をそのままにしておかずに有効に使った方がよいと意見をいただいています。
- ・そこで今年は試行期間として年会費12000円のうち、9000円をセンター分、残りの3000円をエリア活動への補助としてエリアに分配しました。センター預かりになっている

田中 宏道 (LAPIS鎌ヶ谷・千葉県)

エリア中部と北海道はセンターがエリアに喜んでいただける企画をします。

- ・取りあえず余剰金があるのでこの1年はこれでやってみようと思います。
- ・その他、全国研修会での昨年は少し貧相だった食事のグレードアップをしました。

その他、記載されていない他団体の行事も順次ご案内いたします。いくつかご紹介いたします。

- ・北東北 世界遺産 縄文ツアー
6月27日(金)～29日(日)
- ・奇跡のりんご 木村秋穂さんの畑訪問
8月29日(金)～30日(土)
- ・鹿児島 知覧 訪問
9月12日(金)～14日(日)
- ・横浜 創英コーポレーション(創英ゼミナール) 訪問
11月10日(月)
- ・秋田国際大学 見学
来年3月16日(月)

ご興味ありましたら、早めに田中までご連絡ください。
メール ▶ lapis@proof.ocn.ne.jp

また藤岡信勝先生の「塾生・先生・大人のための歴史講座」全40回が6月1日(日)から再開いたしました。子どもたちが聞き耳を立て、喜んで聞く授業をするお手伝いができるかと確信しています。ぜひご受講ください。



<お申し込み>



今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

田中宏道 Facebook / ラピス鎌ヶ谷 Instagram



エリア通信



エリア東北代表 佐々木 康
(やまばと学習館・青森県)

昨冬の雪は青森県に多大なダメージを与えました。私の住む青森市浪岡では最大積雪量192cmを記録し、建物の崩壊が数多くみられ、また県産業の柱であるりんごについては、幹割れや枝折れ被害が相次いで起きました。春が訪れ、ようやく雪が解けましたが、農作業の遅れや被害を受けた建物の撤去などは依然として続いている状況です。当館でも大雪の際に通塾が出来ない生徒のオンライン授業の回数が、これまでで最も多い年となりました。このような大変な新学期スタートでしたが、県をあげての復興事業や補助金の活用などにより、少しずつ、一步一步前に進んでいる青森県であります。

さて、先日5月28日に、令和7年度高校入試の平均点について県教委より発表されました。結果としましては以下のURL(青森県学習塾協議会発表)をご覧ください。

<https://aomoriken-juku.jp>

昨年度より20点以上の大幅ダウンの入試となりました。特に数学(-5.5点)、理科(-11.3点)が50点を切る入試となりました。協議会では、5月30日(金)に総会を開催し、今後の事業計画が立てられ、これから入試分析が始まります。詳細な入試報告が協議会研究部より発表されますが、次の受験に向けて、各塾ともに既存の教材・指導方法から変更をしていくのか、入試対策がいつもよりさらに忙しくなりそうです。

また青森県の報告としては、大湊高校とむつ工業高校を統合して新設する下北地区統合校の開校、県立青森西高校と浪岡高校の統合などのニュースが相次いで見られます。2024年の1年の県内の出生数は5410人で、前の年と比べて592人減少しました。出生数は年々減少を続け、今回の調査では初めて6000人を割り込み、少子化の進行に歯止めがかかっていないのが現状です。県では小規模校と大規模校をインターネットでつなぎ、生徒が同じ授業を受ける指導など様々な案が出されていますが、今後この状況を子どもたちの学びを止めないためにどのようなことをすべきか、議論が急がれるところです。

<https://www.aba-net.com/news/news-144158.html>

(ABA朝日放送「どうなる下北地区統合校」)



雪のこと、少子化のことと今後の問題になりそうなお話ばかりになってしまいましたが、学習塾として今後どのような社会的貢献ができるのか、より一層検討していく必要があると感じました。



エリア関東代表 渡辺 浩
(渡辺塾・東京都)

令和7年5月15日(木)午前10時30分から第25回全日本私塾教育ネットワークエリア関東会員総会がオンライン(ZOOM)形式で執り行われました。

今年は役員改選の年なので、令和6年度活動報告及び決算報告が承認された後、新代表を選出する運びとなりました。代表選出に当たり会員より「渡辺元代表に引き続きやっていただくのはどうか」という提案があり、参加された方全員の承認を経て、私(渡辺浩)が令和7年度以降も引き続きエリア関東代表を務めさせていただくこととなりました。私もこのエリア関東でやり残していることがあるので、引き続き関東会員塾のため、そして、塾の生徒さんや保護者の皆様、塾スタッフの方も含め関係者の皆様にとって有益な情報を発信し、任意団体の主眼である研修に力を入れ、私塾ネット関東のために汗をかいてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

早速ではございますが、6月12日(木)にZOOMによるオンライン形式で「オンラインセミナー」を行いました。テーマは『知らないと損をするお金の話』で、以前お話しいただいた桜井啓太氏にご講演いただきました。会の途中、自塾の会計業務や人事労務の件での質問があり、それぞれにご対応いただきました。授業や保護者会でも話せる大変面白い内容でした。そして、今回のオンラインセミナーに続き、6月22日(日)には横浜中華街の会議室を借りて「秋の研修会」を行います。ご講演は受験国語で著名な渋谷隆之先生。この先生と繋いでいただいたIT担当新役員の伊丹先生には感謝申し上げます。ありがとうございました。今後の国語の指導法や大手塾との対峙についてこちらも大変魅力的な話が伺えると思います。研修内容につきましては次号の広報でご報告申し上げます。

来年2026年は「私塾ネット25周年」を迎えます。そしてこの私塾ネットが30年、50年、100年と続いていくよう、後進の育成と入会に力を注いでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



エリア中国代表 西本 雅明
(パワーゼミ西本・広島県)

福山の自宅から北に向かって1時間ほど車で走ると、中国山地の過疎地域に入ります。

人口8000人弱の「神石高原町」は豊松村・三和町・神石町・油木町の小さな4つの自治体が合併してできた自治体です。1年間で200人以上の人口減少が続いています。中学2校合わせて、1学年が50人程度しかいません。ところどころ住民がいなくなって草に覆われた廃村があります。アスファルトのひび割れに車が走れないほど背の高くなった草が生えていて、茅葺の農家はそのままに生活の跡が放置されています。電波が届かないのでGPSも携帯電話も役に立ちません。そのような地域では70歳80歳は働き盛り、60歳なんてまだまだ「若くていいね(ワコウテエエナ)」と言われます。この地域では10年後20年後には農業従事者がいなくなるかもしれません。令和の米騒動が続く中、10年後のコメ不足が心配です。「僕は田植えもしたことが無い。日本人として恥ずかしい。」と言うと、「明日田植えするよ。来てください。」といろいろなところから親切な声がかかるのですが、塾も春の忙しい時期と重なり未だ実現していません。

そんなこんなで農業高校に興味がわき、7月の定例会は県立西条農業高校へ研修に行こうと考えています。打ち合わせは済んだのですが、防疫やらなんやらで、まだ返事待ちです。乗馬用の馬や和牛(2024年和牛甲子園優秀賞受賞?)もいるので防疫も神経質です。西条農業はマツダスタジアム6個分の面積を持ち(東京ドーム何個分かは知りません)、広島大学等とも連携があり、1学年270名の内30名前前の国公立進学をはじめとして卒業生の8割が大学進学をする専門高校です。広島県内には、農業系の専門高校として庄原実業と西条農業があり、庄原実業は作業技術に重きを置き、西条農業は研究に重点を置いた学校という位置づけです。7月よりは9月の方が収穫期なので楽しいかもしれません。7月の研修がかなわなければ、さっそく9月を提案してみようと思います。



<https://www.saijyo-ah.hiroshima-c.ed.jp>



エリア四国代表 小野 昭
(小野塾・香川県)

まずは、4月の全国研修会ありがとうございました。四国からは山田先生、寺島先生、私の3名が参加させていただきました。全国研修に参加

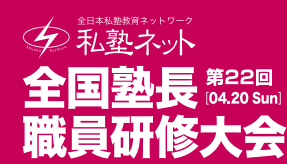
させていただけますと、全国の皆様とお会いでき、視野が広がります。そして、懇親会では楽しく元気をいただけます。ありがとうございました。しかし、東京のホテル料金は上がりましたね(笑)。1年前の全国研修時と同じホテルだったのですが、15,000円から21,000円に上がっております。

さて、6月1日(日)には、私塾ネット四国の総会が行われました。昨年度はMy Self Learnの木原弘人先生がご加入くださいました。そして本年度は、十亀先生のご紹介で二神理数塾の結城茂先生がご加入いただく運びとなりました。十亀先生、木内先生、結城先生の3人で休日は山登りに行かれているようです。四国は総勢17塾となり益々交流の輪が広がって参ります。和やかながら真剣な本音トークをしていただき、明日への活力と、自塾発展のヒントにしていいただければと思っております。席上で、私塾ネット四国SNSのようなものを作って、四国の先生方の活躍をもっと知っていただければと思うという提案をいただきました。また、部活動の外部委託が進んでおり、受託される方は仕事上がりからであることが多く、部活動の時間が7時~9時までとなる場合があります。そのため塾の時間と重なり、特に一斉授業が成立しにくくなってきているとの話もありました。

そして、10月26日(日)には丸亀オークラホテルにて秋の研修会が行われます。啓真館の牧秀幸先生がご講演くださいます。この度、代表取締役にご就任されたとのこと。大変お忙しい中ですが、ありがとうございます。ぜひ皆さんで拝聴させていただきます。もうお一方、白石先生のご紹介で中央教育の古森様がご講演くださいます。教材会社の営業をなさっていらっしゃる。少子化で厳しい状況の中、全国で元気のいい塾様の取り組みや成功事例をご紹介します。皆様の自塾の発展につながれば幸いです。全国の皆様、10月26日はぜひ四国にお越しいただき、昼は研修、夜は活発な情報交換と美味しいお酒をいただきませんか。お待ち申し上げております。

このエリア通信を作成しているさなかニュースが入ってきました。香川県の公立高校の合格発表のし方が来春から変わります。従来は受験番号を各高校の決められた場所に掲示する方法でしたが、ネットの合格発表サイトにて発表するそうです。あの、「うわー、キャー」という一生記憶に残るシーンが変わります。我々のチラシ校門配布も変わっていくことになります。

全国的に梅雨に入りうっとうしい時候となりました。体調に気を配りくれぐれもご自愛なさってください。



お二人の元理事長に 動画でご挨拶いただきました。



谷村 志厚 | 元理事長・会長 (AIM学習セミナー・千葉県)

(動画より文字起こし)

私塾ネット会員の皆さん、ご無沙汰をいたしております。谷村でございます。

私、2022年に教室を閉じまして、3年が経ちました。この間、自宅を寺子屋に、残ってくれました生徒たちの指導をしてまいりました。今年の春、3年目の卒業生を見送りました。そして4年目の今年、塾の経営母体である法人を閉じ、1年をかけて学習塾の世界から静かにフェードアウトする所存でございます。つきましては、私塾ネット正会員を辞退をいたしますが、会員名簿の末尾に名前を残していただけるそうでございますので、私塾ネットの今後の活動を見守らせていただきます。

さて、私が学習塾の世界に入りましたのは昭和59年34歳の3月でした。以来42年を経過いたしました。塾の世界での最初の師匠は、現エリア関東代表の渡辺浩さんのお父さん、公雄先生でした。その後の活動の拠点でした千葉学習塾協同組合においては、新米の理事長の私を支えてくれたのが研修会の責任者である柳田浩靖さんのお父さん晋次先生でした。

そしてバックアップをしてくれた若手同志の一人が現私塾ネット理事長の田中宏道さんです。2001年6月、3団体合同で私塾ネットが誕生するのですが、その4年後、2代目の理事長として活動を支援してくれたのが、鈴木正之さん、仲野十和田さんを筆頭とするエリア関東の若き侍の皆さんでした。このように人に恵まれ、曲がりなりにも42年も塾人として過ごさせていただきましたのは、その折々に出会った人たちの支えによるものです。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして今、中小塾受難の時にあってご活躍されている私塾ネットの皆さん、今後の活躍を祈念いたしております。どうぞ頑張ってください。

ありがとうございました。では、失礼をいたします。



湯口 兼司 | 元理事長・会長 (湯口塾・香川県)

(動画より文字起こし)

はいこんにちは! 四国香川県の湯口塾の湯口兼司です。いつもお世話になっています。今日は柳田さんにちょっと喋れと言われたんで、今撮っています。実は私コロナに罹りまして3ヶ月、それからリハビリのために1ヶ月で4ヶ月間入院していました。そういうこともあって、東京まで行こうかなとは思ったんですけども、今回ちょっとやっぱり往復、難しいかな厳しいかなということで、こういうビデオメッセージで失礼いたします。

私はこの私塾ネットの前身、全塾連、PDF、日私会、この3つの団体の全塾連の時からお世話になっています。そして、広島・山口塾の山口先生、そして今日も居れると思いますけど、広島・若竹塾の佐藤先生、そして神奈川・ステップの龍井先生と、本当に全国の皆さんにお世話になって、東北も行きました。これから関東の先生方にも、シーサイドラボでお世話になりました。

四国は小野先生中心に、今非常にみんな頑張ってます。厳しい中ではありますが、少子化の中、皆さん頑張ってくれています。四国でも大会がありますので、ぜひ全国からおいでいただきたいなと思います。

今日は本当にこんなビデオメッセージで失礼して申し訳ありません。またこれからもどうぞよろしく願います。どうもありがとうございました。



専門行動療法士・臨床心理士の 奥田健次先生による基調講演

「親子ともによい育ち—変えよう、教育のあたりまえ—」

子どもを健やかに育てるために、親がしてはいけないこと

この大会を通じて
縁を深めてほしい

「みなさん、本日は休日にもかかわらず、全国からお集まりいただき、誠にありがとうございます」と私塾ネット研修部長の柳田浩靖氏。



全国学習塾協同組合理事長 森貞孝氏



私塾ネット理事長 田中宏道氏 (LAPIS 鎌ヶ谷代表)

4月20日(日)、全日本私塾教育ネットワーク(以下、私塾ネット)主催による第22回全国塾長・職員研修大会が、きゅりあん(品川区立総合区民会館)で開催された。私塾ネットは、学習塾の活動を30余年にわたって支えてきた任意団体である。

第1部は、奥田健次先生による基調講演。奥田先生はオーダーメイドの指導法で高い評価を得ている専門行動療法士・臨床心理士だ。信州地方では学校再生に取り組み、学校法人西軽井沢学園を創立。2018年4月に「サムエル幼稚園」を開園、2024年4月には「さやか星小学校」を開校した。そんな奥田先生が今回、不登校やスマホ依存、子どもの育て方などをテーマに熱く語った。

田中浩靖氏(日米文化学院)による司会進行で同大会は開幕。オープニングに同理事長の田中宏道氏(LAPIS 鎌ヶ谷代表)が次のように主催者挨拶を述べた。

「私塾ネットは北海道から九州まで、学習塾の方々学びを通して縁を深める団体です。今回はいつもと違い、特別支援学校の先生方、保育園の園長、放課後等デイサービスの経営者やスタッフの方、個人で参加



私塾ネット研修部長 柳田浩靖氏 (日米文化学院)

された方々と奥田先生の話を聞きながら、自分たちも学びたいという気持ちで参加したい」ということとお集まりいただいています。

本大会の特長として、意見を交換する時間や懇親会も設けておりますので、ぜひ、縁を深めていただきたいと思います。」

次に来賓祝辞。全国学習塾協同組合理事長の森貞孝氏が登壇し、次のように語った。

「今、技術が急速に発展して『生成AI』や『ChatGPT』、『ビッグデータ』といった言葉が世の中に数多く飛び交っています。また、デジタル庁が『オープンデータ基本方針』を発表し、国や地方公共団体などが作った膨大なデータを営利・非営利関係なく無償で自由に使える方向に変わりました。私たち塾関係者も、これらを使いこなして、経営力を大きく伸ばしていかなければならない時代になってきたと思います。」

続いて、今回は公務で欠席した(公社)全国学習塾協会顧問である参議院議員・大島九州男氏のメッセージを司会の柳田氏が代読。そこには「本日の研修会を通して、教育を取り巻く環境の変化を正しく捉え、今後の指導や運営に活かしていただくことで、子どもたちの健やかな成長と、より明るく温かな社会の実現に向けたさらなるご尽力を賜りますよう、心より期待申し上げます」と綴られていた。

その後、「それぞれの私塾ネット」と題して各エリアからの報告へ。まず、東北エリアから一橋ゼミナール八木山校塾長の丹治美香氏が登壇。同塾では中学から高校までの継続率が6割から7割であること、生徒

の部活参加率が8割であること、東北大学の総合型選抜入試の指導に力を入れていることなどを語った。

中国エリアからは、私塾ネットエリア中国代表であり、(公社)全国学習塾協会副会長を務める、パワーゼミ代表取締役の西本雅明氏が登壇。西本氏は、同塾が4教室を展開する福山市についてユーモアたっぷりに語り、会場を沸かせた。



私塾ネットエリア中国代表 西本雅明氏 (パワーゼミ代表取締役)



一橋ゼミナール八木山校塾長 丹治美香氏

のエピソードについて語った。

このドラマは、自らも発達障害を抱える児童精神科医と研修医が、様々な生きづらさを感じる子どもと親に真摯に向き合う姿を描いた作品だ。脚本は、大ヒットした医療ドラマ『ドクターコトー』を担当した吉田紀子氏。奥田先生はその吉田氏に専門家としての知識と経験をもとに助言した。

世界初の「パーソナライズ学習」

いよいよ、奥田先生の基調講演へ。

「奥田先生は、学校法人西軽井沢学園の『サムエル幼稚園』と『さやか星小学校』の創立者であり、理事長でいらつやいます。行動分析学の専門家として、不登校や発達障害の子どもたちに向けて、これまで延べ2万件以上の現場支援を行ってこられました。叱らずに子どもを伸ばす教育の実践者として、科学的で温かい支援を日本全国はもちろん世界へと広げておられます。」

柳田氏が次のように紹介したあと、奥田先生はまず、「昨年にテレビ朝日で放映された漫画原作のドラマ『リエゾン—子どもたちの診療所—』で制作協力を務めた際

続いて2024年、佐久市に開校した「さやか星小学校」について語った。

「長野県で一番小さな定員の私立小学校で、1学級は28人までです。ここでは、児童全員を画的に指導する日本の従来型教育をやめて、世界初の『パーソナライズ学習』を導入し、子どもの学びを支援しています。」

「さやか星小学校」では、タブレットなどのデジタルテクノロジーを有効活用することで、一人ひとりの得意不得意に合わせてオーダーメイドの授業を展開している。例えば、火山に興味のある小学1年生が小学6年生の参考書を使って、先生とともに深掘り学習を行うといったシーンも見られるのだ。こうした学び手の学習進度に合わせた「パーソナライズ学習」によって、落ちこぼれも、浮きこぼれも生じないと

寄り添ってはいけない
ケースも

次に奥田先生は「本日、お伝えしたいこと」と銘打って次のように述べた。

「どうすれば子どもは『悪く育つか』です。それを避けるためにすべきことは、子どもにとってよい環境を整えること、そして、気をつけるべきことは、何もしなければ、望ましくない行動がどんどん増えてしまうということです。」

そこで今回のテーマを「不登校」と「依存症」と「家庭と塾が協力することの大切さ」とさせていただきます。」

この本題に入る前に奥田先生は「個別」の重要性について述べた。

「みなさんがバイオリンなど、これまで触れたことのない楽器の演奏を習得しようという時、いきなり『エキスパートクラス』に入れたら、どんな気持ちになりますか？ 他の生徒がバイオリンを美しく奏でているクラスに放り込まれるわけですから、なかなかやる気があつたにもかかわらず、次第に学ぶ力がなくなってしまう。」

このことをみなさんは保護者に伝えるべきです。『みんな一緒の方法で』という考え方は、時代遅れであり、子どもにとって不健康な環境です。」

こう力説したあと、本題である不登校について述べた。

「不登校に対する世の中の認識は間違いだ

全国研修 特集記事の紹介 ■ 塾と教育 (250530)

全日本私塾教育ネットワーク
私塾ネット

全国塾長職員研修大会 第22回
[04.20 Sun]

Edu Report

専門行動療法士・臨床心理士の奥田健次先生による基調 講演「親子ともにより育ち—変えよう、教育のあたりまえ—」



私塾ネット副会長理事長代理
仲野十和田氏（ナカジユク代表）

「街の中はイネイブリングによる『社会的悪循環』だらけです。子どもが泣くと親が不憫に思ってしまう。泣き止むとほっとして親は注目しなくなります。しかし、またどうせ何かのことで子どもは再び泣くのです。子どもの行動は親の行動に、親の行動は子どもの行動によって影響を受けます。」

「イネイブリングによって、副次的に現れやすい行動や情緒障害には、睡眠不足や反抗、乱暴、破壊行動、虚言癖、学業不振などが挙げられる。」

「次は奥田先生は常に子どもの要求が優先されることで、子どもが悪く育ってしまう状況について「イネイブリング」「イネイブラー」という言葉を用いて解説した。イネイブリングとは依存行動（ゲーム、ギャンブル、アルコール、薬物など）を続けることを許してしまうこと、「イネイブラー」とは、イネイブリングをする身近な人のことをいう。親や教育者がイネイブラーにならないといけないのだ。」

親がイネイブラーにならないこと

入らないのです」

「現在の不登校は過去のそれとは違います。『学校に行きたい気持ちがあるんだから不登校と一緒にしないで』と子どもが主張すれば、また、親が医師の診断書をもたえは、『不登校ではない』（不登校に分類されない）とされます。『隠れ不登校』や『不登校隠し』が起きているのです。」

「科学省の『不登校』の定義では実態が隠されてしまうので、『長期欠席者』全体に目を向ける必要があると力説する。」

「『学校に行きたい気持ちがあるんだから不登校と一緒にしないで』と子どもが主張すれば、また、親が医師の診断書をもたえは、『不登校ではない』（不登校に分類されない）とされます。『隠れ不登校』や『不登校隠し』が起きているのです。」



基調講演を行った奥田健次先生

2024年の長期欠席者の推移を見ると、子どもの数が減っているのに、こうして長期欠席者は増え続けています。私は警告し続けてきましたが、案の定、コロナ以降も増え続けているのです」

家庭ではスマホを完全にデトックス

「特に長野県は長期欠席者が多く、県内の私立学校ではこの2年間でさらに増加しています。長野県の私立学校は相変わらず中部地方でワースト1です。」

「一方『さやか星小学校』では、児童が病院に行かず、2日間休めば支援を開始し、休み癖がつかないようにしている。そのため、長期欠席者がいない。これには保護者の全面的な協力が必要だという。」

「続けて奥田先生は保護者の声を紹介。『日曜日の朝、起きてきて『まだ日曜日なのか』とため息』『日曜日の夜、『サザエさんのエンディングの後くらいから月曜日が待ち遠しいようです』『まるで遠足に行く日の前のように、学校に登校するのを楽しみにしています』といった声が寄せられているのだ。」

「長期欠席ゼロの秘訣の一つには、学校でのみ、デジタル機器をふだんに利用でき、家庭では完全にデトックスしていることがあげられる。スマホ所持児童は、一人もいないのだ。」

「学校に行ったらデジタル機器がいっぱいあって家にはない。使っているのは、お父さんやお母さんだけ。『さやか星小学校』は、こうした環境からスタートしているのです」

「子どもは不調に過剰なまでの反応をしてしまいがち。何かあれば飛んでくる保護者を『ヘリコプターペアレント』と言います。塾を経営するみなさんも、こうした保護者との関わりには苦慮しておられるはずだ。」

「ちなみに『サムエル幼稚園』に見学に来られれば面白い場面が見られます。4月に入園した園児は親と離れた不安や環境の変化で泣いたり騒いだりします。しかし、先生は完全に背を向けます。すると、そのうち園児は泣き止みます。そして、おもちゃで遊び始めた時に先生は園児に寄り添うのです。もちろん、これは保護者の理解と協力があってこそ、できることです。」

「泣いたら声をかける。こうした不健康な寄り添い方は、不健康を増加させます」

「尊敬する心を持つ子どもはよく育つ」

「イネイブリングをやめるコツ」として、奥田先生は「がばいばあちゃんを見習ってほしい」と提案した。「がばいばあちゃん」は、漫才師である島田洋七氏の自伝に登場する、島田氏の祖母である。島田氏は佐賀に住む祖母のもとに預けられ、少年時代を過ごした。貧しく苦学人であった祖母のもとで、島田氏は健康に成長していく。

尊敬する心を持つ子どもはよく育つ

「島田少年が学校から帰ってきて、『ご飯は？お腹すいたんやけど』という、おばあちゃん「気のせいや」といいます。空腹を我慢して寝て、朝起きて学校行く前に「飯はあるのか」と思ったら『学校行きなさい』のひと言。『おばあちゃん朝飯は？』と聞くと『昨日食べたやん』と言います。そこ

子どもの要求を優先してはいけない

文部科学省の特別支援教育調査結果の家庭的要因を見ると「不登校」及び「その他」の要因の上位に「ゲーム障害・パソコンや携帯電話等」が挙げられている。「ここに入っていない家庭的要因に私は『常に子どもの要求が優先される』を入れました。最近の親は、ほとんど子どもに振り回されています。」

数年前、ある地方で起き、現在裁判中の事件があります。精神科医の娘が殺人事件を起こしました。その精神科医は娘の言うことを優先し続けたそうです。その結果でしよう。娘の犯罪を止めることもできず、実行するための協力までさせられたのが結末なのです。こういう子育ては絶対にしてはいけません。」

「わが国の方針が、残念ながら子どもの意見を重視する方向になっていますが、それを奨励してしまうと、社会も家庭も混乱します。」

「日本の幸福度はみなさんご存知のように内戦が起きている国と同じような順位です。また、日本は子ども（10〜19歳）の自殺率がG7諸国の中で1位です。このような状況を何とか改善しなければなりません」

「こうした問題の背景にあるのが、インターネットである」と奥田氏は指摘する。「ネットの利用時間が長ければ長いほど、自己肯定感が低くなります。そして、ネット依存になり、寝不足や自己コントロールの

で島田少年は近所の庭の塀から飛び出しているのはつくを食べて空腹をしのいだといひます。このような貧困状態の中、祖母に育てられたことを、島田洋七氏は今でも講演で楽しそうに語って言います。おばあちゃんにひび目に合わせたとは微塵も思っていないのです。保護者がイネイブラーにならないためには、島田少年のおばあちゃんを見習わなければならぬのです」

「そして奥田先生は会場の塾関係者に『学校と二階に困難に立ち向かいましょう』と呼びかけた。」

「人を尊敬する心を持っている子どもは健康に育ちます。そこで間違っても保護者は学校や塾の先生への不信感を子どもの前で口にしてはなりません。」

「尊敬する心を持つている子どもはよく育つので、そのためには間違っても先生への不信感を子どもの前で言うてはいけません。これも、皆さんの塾に子どもを通わせている保護者が、塾の先生を軽んじてはいけないということ。もちろん、先生であっても、完璧な人間はいませんし、全員が聖人君子ではないですが、子どもを教える役割を担っている先生のことを悪く言うてはならないのです。」

また、これまで述べたように子どもに寄り添って言いなり召使いのようになること、反対に力づくで子どもを従わせる暴君のような振る舞いをしてはなりません。子どもが親や先生に尊敬の念を抱き、その言葉に従おうという気持ちがある自然と沸き起こることが一番です。これをめざしましょう」

その後、奥田先生は自身が原作を手が

低下、情緒不安定などの状態が引き起こされます。精神の不調が増え、それによって浪費、衝動性が高くなることわかつているのです。脳科学者、行動分析学者、医師、先日お会いした曹洞宗の僧侶などが口を揃えて子どもにスマホを持たせるのはよくないと言っています」

ネットは依存性のある薬物と同じ

親に対する子どもの要求のひとつがスマホを持ちたい、家庭で使いたいというものだ。

「子どもが持たたいと言っても、スマホやタブレットは絶対に持たせないようにしましょう。何時から何時までと時間を決めて使わせるのもよくありません。焼き肉90分食べ放題の店に行けば、元を取ろうとして夢中になってたくさん食べようとするでしょう。それと同じです。」

「iPhoneを持たせたいですか？」という質問に対して、ステイブ・ジョブズ氏は『持たせるつもりはない。さっき言ったでしょう？一度使ったら生活から切り離せなくなるように開発したのだから』と答えたそうです。子どもにとってネットは依存性のある薬物と同じです。iPhoneを開発した人が依存するように作ったと言っているから一度持たせたら終わりです」

そう語ると、奥田先生はある映像を見せた。塾帰りのと思われる子どもたちが電車の優先席に座ってスマホを見ている。『周囲に妊娠中の女性や高齢者がしんどそうに立っているのに、スマホに夢中で目に

けた「拝啓、アスペルガー先生『マンガ版』—異才の主張セラピスト実録（飛鳥新書）』などについて紹介。続いて会場からの質問に答えた。

決める事をつくらせると登校率が2倍に

基調講演の後は、振り返りと情報共有へ。隣の席や後ろの席に座った参加者が3〜4名のグループを組み、各自がアイスブレイクシートに仕事や趣味などを記入。グループの中からファシリテーター役を決めて一人ひとり自己紹介し、講演を聞いて思ったこと、感じたことを語り合った。

最後に私塾ネット副会長理事長代行の仲野十和田氏（ナカジユク代表）が次のように挨拶をした。

「私のフリースクールでは、3年ほど前までは精神的に落ち込んでいる生徒が多く、その子たちが元気になるからと思つてとりあえず、やりたいことをさせようとしていました。例えば、ゲームをしたい生徒にはゲームをさせていました。しかし、これではよくないと感じ、子どもたちと相談して『午前中は絶対に勉強しよう』というような決める事をつくらせたのです。すると登校率が2倍になりました。子どもたちは、本当は自分が何をしなければならぬかをわかっているのだと思います。」

今日のお話は非常に興味深く参考になりました。明日から実践してみようと思います。ありがとうございます」

こうして第一部は終了し、第二部の懇親会へと移っていった。

全国研修 特集記事の紹介② 私塾界 (250603)



全国塾長職員研修大会 第22回 [04.20 Sun]

SPECIAL REPORT ①

第22回

私塾ネット 全国塾長職員研修大会2025

輝かしい実績を携え小学校を開校

全日本私塾教育ネットワーク(私塾ネット)は4月20日、「第22回 私塾ネット全国塾長職員研修大会 2025」を都内で開催した。この大会では学校法人西軽井沢学園 創立者・理事長であり、学校法人OCC 大阪キリスト教短期大学 副学長でもある奥田健次氏が、『親子ともに良い育ち ～イネイブリングを卒業しよう～』と題し講演をおこなった。ここではその講演の模様をレポートする。

専門行動療法士、臨床心理士として現場に従事してきた奥田氏は、不登校や発達障害など2万件以上の支援をおこなってきた。また、2023年にテレビ朝日で放送されたドラマ『リエゾン—こどものこころ診療所—』では、臨床現場の実際について取材協力を担当されている。

奥田氏はドラマの裏話などをユーモラスに語った後、自身が昨年4月、長野県佐久市に開校した西軽井沢学園さやか星小学校について語った。

廃校を買って受けて開校したさやか星小学校は、一斉指導を完全撤廃し、世界初の「一人ひとりに合わせた



奥田 健次氏

指導」をおこなっている。教科書を細かく分解して教えることで、落ちこぼれは一人も出ていないという。

「家では一切スマホを使わせないこと」

近年の不登校増加に対し、さやか星小学校の不登校はゼロだ。その大きな要因となっているのが家庭での完全デジタルデトックスで、スマホやタブレットは学校でのみ利用できるようにしている。仮に使用時間を決めたとしても、守れなかった時にウソをついたことになるため「完全」にするのがポイントだ。

さやか星小学校では、病院に行かずに休んだ子供を様子見せずにフォローし、休みグセがつかないようにしている。一度スマホ依存や不登校になると、立ち直るのに相当な時間と労力を要するからだ。

また、常に子供の要求を優先している家庭は問題を抱えやすい。「本人がその気になるまで待つ」「充電

も必要」といった考えは好ましくなく、不登校やひきこもりをかえって助長してしまう。

県を挙げて不登校問題に取り組む徳島県でアドバイザー役を務める奥田氏は、学校参加率や欠課時数を測定し、データ化。さつそく、大きな成果をあげていて「不登校の予防に成功すると、成績も上がるんです」と副次的効果を伝えた。

「イネイブリング」を断ち切るには

「イネイブリング」とは、「誰かの依存症を可能にする



私塾ネットの田中宏通理事長

いく。これを断ち切るには、イネイブリングな関係を例外なく断ち切ることが重要だ。

ただし力尽くで子供を従わせるのでは

なく、「子供が親を尊敬し、自然と従う気持ち」が沸き起こる状態を作ること」が何より大切となる。

子供が要求できるような「AとBどっちのおやつがいい?」と、親が先に選択肢を示すのは問題ない。しかし、「おやつちょうだい」と要求されてから「じゃあ、AとBどっちにする?」と言うのは後手に回っているため、まずいのである。

子供から要求される前に先手を打つ

子育てで取り入れるとよいことに、「クオリティタイム」がある。クオリティタイムとは母親が一定時間、兄弟姉妹の一人ずつと1対1で接することを言う。兄にも30分、妹にも30分というように、同じ時間、1対1で向き合うのだ。

子供は飲み込みが早いので、母親に何かしてもらいたくなかったとしても、「明日のクオリティタイムに言おう」と考え、無理やり注意を引こうとしなくなると

いう。誰にも邪魔されず独占的に接してもらえれば子供の満足度は上がるのに対し、母親の負担は格段に減るという反比例が生まれる。

親と子が一緒に成長できるように、様々な具体策が示された本講演。最後に質疑応答の時間が設けられ「子供に寄り添わないほうがよいことを、妻に納得してもらうには?」という質問が寄せられた。これに対し奥田氏は「呼ばれていない時に相手をするといいです」とアドバイスした。

例えば、料理中に子供同士のケンカが始まった時は仲裁に入らないようにし、反対に大人しく遊んでいる時はあえて料理を中断し、「上手に絵が描けたね」のように子供と関わる

とよい。

このように「先手」を取ることが重要だと、奥田氏

全日本私塾教育ネットワーク
私塾ネット
全国塾長 第22回
職員研修大会 (04.20 Sun)

全国研修大会を終えて みなさまからのメッセージ



日米文化学院 / 柳田 浩靖 全国大会実行委員長から

会員の皆様へ。

昨日、大井町きゅりあんにて開催されました全国塾長・職員研修大会を、皆様のおかげをもちまして無事に終えることができました。実行委員長として初めての大会であり、至らぬ点多々あったかと存じますが、皆様からのご協力と温かい励ましのお言葉に、心より感謝申し上げます。

奥田健次先生によるご講演のテーマ「親子ともに良い育ち～変えよう、教育のあたりまえ～」の通り、今後それぞれの塾やご家庭において、より良い取り組みが広がっていくことを願ってやみません。また、今回ご縁をいただいた奥田先生とも、軽井沢への訪問などを通じて、さらに交流を深めてまいりたいと思っております。

来年は、私塾ネット設立25周年の節目の年となります。皆様のお役に立てるような記念企画を準備してまいりますので、今年お会いできなかった方々とも、来年はぜひお会いできますことを楽しみにしております。

パワーゼミ / 西本 雅明 エリア中国代表から

お疲れ様です。中国地方の西本です。

関東地方の先生方には毎回オンブにダッコで甘えっぱなしです。毎回企画運営をして下さり、ありがとうございます。実力のある先生方は私塾ネットだけではなくいろいろな団体の重い役を兼任なさりながらの運営だと推察いたします。

柳田先生や長江先生も体調的精神的にギリギリの状態であったと伺っています。また、渡辺先生もご家族のご心配がありながらのご参加だったようです。その他にも僕の知らないところで皆様大変ご苦労なさったことでしょう。

毎回楽しいばかりの良い経験だけをさせて頂いている僕なんかは、本当にダメ人間だと自覚しなければなりません。

今回もお世話になりました、有難うございました。

吉長塾 / 吉長 あけみ

4月20日、全国塾長・職員研修大会に出席し、奥田健次先生の講演「親子ともに良い育ち～変えよう、教育のあたりまえ～」を聞いてきました。今、どの家庭にも悩みとなるスマホの話もありました。子供のスマホ所持のあり方、母親と子供の接し方など、興味深い話を聞くことができました。講演後、他県の先生達との交流の時間も貴重な学びの時間でした。

大会前日は、手配をしてくださった田中理事長のおかげで、日本を代表する伝統文化の一つ、歌舞伎を鑑賞することができました。前の席を用意していただき、大変貴重な体験をしました。田中理事長に感謝いたします。

今回の研修大会では、講演会で学び、その上、東京観光、赤坂迎賓館、明治神宮、人力車に乗って浅草を回り、有意義な時間を過ごしました。ありがとうございました。

E-jukulはやし塾 / 林 恵美子

<東京めぐり>

東京でしか味わえない体験でパワーを頂きました。

●銀座歌舞伎座はパワースポットです。私は歌舞伎観賞でパワフルに変身しました。一生が勉強です。という言葉に大きな光の銃弾を受けたようでした。たくさんのお稽古や試練で作上げた舞台。私も自分の舞台でしっかり演じる覚悟ができました。4月、3人生徒が増えて、来週2人体験レッスンに来ます。歌舞伎観賞でパワーをもらったおかげです。

●迎賓館見学。ここなのか！？岸田総理や外国の要人が会ったのは…とその場に足を踏み入れたことに感激。

●ソラマチ。具沢山味噌汁とおにぎり、これで商売になるんだ！？しかも1,980円もする。こ



れが東京じゃわ、うん。

●浅草・人力車体験。これまた吉長先生の計らいで、人力車に乗った。穴場を説明してくれながら、回ったことで本当に旅をしていた感じでした。

英数学院 / 長江 広紀 私塾ネット事務局長から

もうあれから1ヶ月が経ちました。久しぶりに皆さんのお顔を見られ、大変嬉しかったです。実行委員の皆さま、ご準備ありがとうございました。

同日に行われた代表者会議において、引き続き事務局長の任を拝命されました。引き続き宜しくお願い致します。

今年3月に不登校だった生徒がうちの塾を卒業しました。人間関係が影響しているのかと邪推しましたが、現在の不登校事情は複雑で原因も多岐にわたっています。彼女の場合、強いて1つに絞れば「人数の多い場所に入る」のが難しかったようでした。今日日珍しい学年13クラスのマンモス校でした。

塾を欠席することも多かったです。しかも、授業の直前に保護者から頻りに連絡が来ました。「疲れている」「雷が苦手」「部活動・行事の結果で落ち込んでいるから」「明日文化祭だから」etc. 保護者の悩みを共有していたのですべて受け入れましたが、その対応は正しかったのだろうかと考えていました。

奥田健次先生の講演を聞いた今、同じ状況だったら違う行動に移せる自信があります。子どもに腫れ物のように接していた態度を反省しました。もちろん、民間の塾なのでできることは限られますが、保護者とは上手く話し合える自信がつかしました。

全国研修の感想、是非多くの方から伺えたら勉強になります。member@ml.shijuku.net→こちらの宛先にお送りいただけたら、当日参加できなかった先生方にも届きます。もっと気軽に情報交換をし合えるMLになればと思います。

関東は今日から一気に夏らしい気温です。お体くれぐれもご自愛ください。

いぶき学院 / 鈴木正之 私塾ネット会長から

長江先生のメール通り、ちょうど1か月前が全国研修でしたね。東京開催の全国研修では、私はほとんど研修会に参加したことが無く運営サイドとして携わってまいりました。今回も、受付と第2部懇親会、2次会の事で右往左往していました。さて、今回の研修会ですが、今までの研修会と異なる傾向がありました。全国研修会は通常、私塾ネットの会員及び賛助会員、学習塾団体、私学の皆さんの参加が殆どです。ところが、今回は全く存じ上げない一般の申し込みが何人もありました。これは「奥田健次先生の話を聞きたい」という事での参加です。今後、一般の方が参加したくなるような研修会になっていくといいですね。2次会は地元の大井町のメンバー（木谷先生、鎌田先生、新入会の鈴木清彦先生）が中心に段取りを組みました。少し狭い場所でしたが、皆さんが楽しんでいる姿を見てホッとしました。

最後になりましたが、奥田先生ありがとうございました。研修部長の柳田先生で苦労様でした。実行委員の皆さん、ケータリング業者の方々、きゅりあんのスタッフの皆さん、ありがとうございました。来年は25周年大会です。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



エリア報告

北から南まで

報告

畑山 篤 (志学塾・青森県)

青森・八戸 志学塾 畑山篤先生の「はたやん日報」



全国研修会でお世話になった青森・八戸の志学塾・畑山篤先生から、ときどきLINEが私、田中（LAPIS鎌ヶ谷）のところに届きます。

ご存知の方も多いとは思いますが、畑山先生は体調を崩されてご療養中です。ご療養中とはいえ、お元気な様子をお知らせくださいますので嬉しくて、ご本人のお許しを得て、そのいくつかをご紹介させていただきます。

いつも大変ありがとうございます。

去年、東北大学病院に入院し、3ヶ月たち5月11日に退院させていただきました。元気に過ごしております。思いは言葉に100%繋がっております。しかし、私の“脳”は、文字、数字、漢字や平仮名を書けるかどうか難しい。これからも“おはようございます”と言葉を繋いで笑顔で皆様とお会いできれば幸いです。宜しくお願い申し上げます。

.....

おはようございます☀

5月11日（日）朝☀15℃最高16℃、☀曇り、暖かい一日です♪

体重66.95kg
BMI 24.6
血圧127／80
脈拍 58
睡眠8時間4分
体温36.4℃

たいじゅう
びーえむあい
けつあつ
みゃくはく
すいみん
たいおん
さぁ、漢字、数字、平仮名、書けるかなぁ…(^。^)y-° ° °

久しぶりに新聞を読むと…
2025年の男性名の流行は、読みのランキングでは「はると」がトップを走り続けています。
漢字のランキングでは、上位に「陽翔」「蒼」「蓮」などの

名前が、「はるき」、「りく」なども安定して人気があります…と。そう言えば、畑山篤の篤は、小学校から色々あったなあ。「篤」という名はオヤジの上司がつけて下さったと聞いている。幼い頃は、“竹馬”と揶揄され（実際竹馬は上手だったが）、高校から社会に出るまでは、“危篤”=“危ないアツシ”、“篤農家”=“アツシは百姓”などなど…。

オヤジ（政雄）は「お前の名前はおじいちゃんから“父親”から一字、そして長男だから一雄だ」と決められていたんだが、上司の●●さんが…」と。

.....

この新聞を読んで、親の希望にも時代を映す流行があるだろうと思います。世代が変わり、子がこうして65歳を過ぎて、ふと漢和辞典で名前の意味をみたときに、その深意が腹に落ちるってのが幸せだよなぁと思ったり、考えてみたりする…

暖かい一日です☀☀
杖つえ…を歩いて見ましょ☀
天満宮にお祈りします🙏
🍀日々是好日💖
////////////////////
※朝8時35分です。☎LINEを書いてみました👉

おはようございます☀
6月13日（金）朝☀13℃最高22℃、晴れ☀時々曇り☁
体重67.90kg
BMI 24.9
血圧145／86
脈拍 59
睡眠7時間12分
体温36.4℃
さぁ、平仮名書けるかなぁ…(^。^)y-° ° °

6月12日（木）17時、掛かり付け医、“良雄先生”の診察に行ってきた。ありがとうございます🙏

そう言えば、コロナ禍の5年間は大きな仕事を受け入れ立派な医者になりました。

3年前、中居林小学校に近い病院に優しい先生がいると評判が良いと広がっていた。家族で行って見たら、私の前に「塾長！お久しぶりです」と。「良雄！中学3年、八高ビリで入ったなあ」と失礼な事を。

良雄先生は「塾長のお陰で今日があります！」と。志学塾のお陰で八高にビリでも入り、その後は勉強と部活は簡単でした。医学部は難しくなかったです♪と…「塾長に言

われた言葉で一番残っているのは“お金を動かせ”！」と、覚えています♪…60歳を過ぎて、そんな事を言われても、涙が出ました😭

去年の二月、東北大学病院に助けてもらいました。

● 種市良雄院長（志学塾第5期）
内科種市病院

● 乙供大樹院長（志学塾第6期）
おっとも脳神経クリニック

そして、東北大学病院に入院していたら、会いに来てくれました。

● 方山博路 助教（志学塾第7期）
東北大学 大学病院 泌尿器科学
志学塾の小学校、中学校、高等学校、皆んな大きくなりました。

.....

掛かり付け医、“良雄先生”の診察に行き話をしに来ました。勉強部活、学校を育ててあつという間の30年でした…ありがとうございます(ありがとう)

中居林自宅🏠から、杖つえ…を歩いて見ましょ☀☀
天満宮にお祈りします🙏
🍀日々是好日💖
////////////////////
※朝8時11分です。☎LINEを書いてみました👉



（以下、田中）
はたやん！心暖まるLINEをありがとぉ～ごさいますっ！💖💖
真っ青な空☁ はたやん、お元気そうで何より！💖💖
いつも素敵な、ときにはちょっと切ないご報告をありがとぉ～ごさいますっ！
読むのが楽しみです！🍀

報告

小林 三博 (熱血指導塾わせスタ・東京都)

私塾ネット関東 会員のみなさま。
いつもお世話になっております。わせスタ小林です。

令和7年度より私塾ネット関東総務を担当しました。今後のMLやLINE・郵送でのご案内は私からお送りする予定です。よろしくお願いいたします。



早速ですが、5月15日(木) に先日開催されました「第25回私塾ネット関東総会の議事録及び資料」をお送りしました。下記6点のデータをメールに添付しました。ご確認ください。
※後日皆様へ紙ベースも郵送いたします。

1. 令和6年度活動報告書
2. 令和6年度決算書
3. 令和7年度活動計画書
4. 令和7年度予算
5. 令和7年度活動カレンダー
6. 総会議事録

令和7年度 私塾ネット関東活動計画のうち、広報には抜粋して【目的】と《新たな提案》のみを記載します。

【目的】任意団体の強みを活かし、「会員塾がプラスになる」をモットーに、教務を中心とした研修会・勉強会の開催に力を入れ、会員は勿論、会員塾の塾生や職員にとっても有意義な活動を行う。さらには、学習塾の地位向上に努め、塾人としての責任とプライドを持ち、学習塾業界の発展に寄与する。

- 《新たなご提案》
- @オンラインを活用し、教務・経営・進学等のミニセミナーを不定期に行う
 - @他団体とのコラボ研修会を積極的に行う
 - @来年は私塾ネット25周年なので、他エリアと協力し25周年記念大会を企画する
 - @私塾ネットを「理事制」にするべく、センターに提案していく
 - @エリア規定の改正を提案する
 - @センター連携部を廃止し、センターとの連携は「渉外部」が担当する
 - @新たに「IT部」を設置し、デジタルスキルの向上、動画編集等の運営を行う
 - @各部費（予算）の再検討
 - @尾田衣子さんの「受験必勝レシピ」を一般公開し、宣伝素材として有効活用する

報告

サロンヒロキ

第192回サロンヒロキへようこそ。同期に戸川という柔道部員がいた。ボクの学生時代はまだ「柔道は体が大きい人間がやる競技」という認識が強く、軽量選手は少なかった。戸川は牛乳瓶のような眼鏡を掛けた愛らしいキャラだったので、クラスの皆からよくいじられた。「戸川。柔道で勝負しようぜ」とふざけてくるヤツも。彼は軽量級の人手不足で試合には出ていたもののあまり強くなく、クラスメートにいいようにやられていた。

中学高校に入ると、保健体育の授業で武道が登場する。うちの中学は否応なしに剣道であった。普段全く人気が無い剣道部であるが、この時ばかりは部員たちは皆の注目を浴びる。体操着の上に、倉庫に眠っていた防具をつける「足軽」スタイルには閉口したが。

体育で剣道をやる。多くの生徒は初体験でワクワクしたが、そんな興奮を余所に「ヒロキは本当に剣道が強いのか」疑惑が浮上した（一応レギュラー）。放課後体育館へ練習を見に来ればいいだけの話であるが、サッカー部の虚空へ飛ぶシュートとか、バスケ部の風になびく前髪とか、特に女子はそういうもののしか興味を示さない。ボクは普段よほど冴えない人間に見えたのか、皆はボクの剣道の実力に興味津々なのである。

チーム分けをし、経験者ということでリーダーみたいな役目になった。授業で団体戦を行うことになった。「ヒロキ。勝負しようぜ」と番長（通称）が声を掛けた。自分は大将をやるからボクにも大将をやれというのである。この男は完全に舐めてるなと察知した。「ヒロキが剣道をやる」というので、多くのクラスメートが集まった。番長チームとの試合は佳境を迎え、大将戦になった。「始め！」の合図とともに番長は猛然と竹刀でボクをボコボコに殴りだした。「これ、剣道じゃないし」とボクはよけながらも機会を窺った。審判を務めた級友が試合を止めようかと迷っていた刹那、一瞬の隙にボクは強烈な面を放った。一本である。2本目も同じ展開。番長の振りをよけてよけまくって、再び一振り。小学2年からやっているから、理屈ではなくどのタイミングで打てば入るかなんて体に染みついているのである。番長は80回くらい竹刀を振り下ろし（なんかの恨みでもあったのか…）、ボクは2回振って勝負は終わった。暴力VS武道の仁義なき戦いは武道の勝利であった。

剣道部は当時学校で一番強い部活であったが、その後も放課後の体育館に来る子はいなかった。女子は相変わらず弱小バスケ部の前髪に夢中である。ボクはといえば、防具の臭さに嫌気が差しながら打倒〇〇中を目標に練習を続けた。体育の授業後、ボクへの評価が変わったかといえば微妙である。女子から告白された記憶はないし、男子からは相変わらずバレーボールのアタックを狙われる。ただ番長は、あの日以来「番長」というあだ名ではなくなった。ボクはそれに少しほくそ笑んで、部活の後重い防具を担いで道場へ向かうのであった。カット！



報告

田中 宏道（LAPIS 鎌ヶ谷・千葉県）

番外編「お箏（琴）のおはなし」

どこかわからないのですが。。とあるエリアでのLINEグループの会話でございます。ご本人たちにお断りして掲載させていただきます。



<仁右衛門さん>

今、NHKFMを聴いています。毎週金曜日11時は、邦楽の和楽器に関する番組「福之音（ふくノート）」です。

今日は、千本桜を唄った「和楽器バンド」の箏奏者がゲスト。福山って箏の生産で有名なんですね！🥰

福山城の初代城主を演奏した「風来宗一」って曲が流れました。

広島東洋カープがやっている樽募金を真似して、和楽器バンドのLIVEでも樽募金をやったそうです。そのお金で箏産業が潰れないように小学校に箏を配り、この箏奏者（いぶくろ聖志さん）と合奏をしたそうですね！🥰

福山の名前が出てきて嬉しくなっちゃってLINEしました😄ご興味ありましたら「聞き逃し配信」で聴いてみてください🥰🙌

<ミッシェル・ボルナレフさん>

福山の中学校や高校には、琴部があります。今ではカープも樽募金はしていません。松田オーナーが毎年黒字でガッポガッポ儲けています。

<キャサリンさん>

お琴は呉服屋の友達が習っていました。それで生産地が福山ってことを知りました。

県内のこともなかなか途切れ途切れで知らないこともあります。

ミッシェル先生、東京研修で福山をアピールできて良かったですね。私もよくわかりました(^_^)

<クリスティーナさん>

広島県立広島中学高校にもお琴のクラブがあり上手です。また福山のお琴の工場の影響で、尾道でも小学生や中学生がお琴を習っています。

和楽器もいいですね。

以上です。

報告

「理事長」系の活動報告 / 田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷・千葉県）



賛助会員の「自由学園」さま。上甲晃さんの「志ネットワーク」を通じてもお付き合いのある旧知の更科幸一先生が今年4月に学園長に就任されました。そのお祝いを兼ねて見学会を企画させていただきます。

学園長に就任されたことを知ったのは7月9日（火）に東京大井町、鈴木正之会長の「いぶき学院」で私塾ネット広報発送作業のときでした。仲野十和田副会長が自由学園の「学園新聞」を持ってきてくださり、それをじっくり読んで知ったのです。今回は仲野さんが会長である「進路指導研究会（進路研）」との共同イベントとして開催いたしました。

参加者は、賛助会員「国際高専（金沢）」の高田さんを含めて私塾ネットから6名。千葉学習塾協同組合（JAC）から1名。進路研からは教材会社の育伸社2名の方を含めて3名（私塾ネットと重複している方を含めると7名）。今はルートマップマガジンの記者をされている旧知の片倉さんもいらっしゃってくださいました。

東京池袋から西武線急行で 15 分ひばりヶ丘駅。閑静な住宅街を歩いて 10 分程。都市部近郊にありながら「東京ドーム 2.1 個分」の自然あふれる広大なキャンパス。生徒全員並んでもまだ間が広い大芝生。木工所。野菜や花を育てる畑。ドジョウの養殖所。東京都の指定有形文化財になっているさまざまな教室棟。その他に那須の農場。埼玉にある山何個分??? 植林地。

百聞は一見に如かず。古いんだけど美しい！昭和初期の映画の中の学校??? 別世界。中学部のチャイムは番木（木の板を木槌で叩く）。高校部のチャイムは生徒の鳴らす鐘（♪あの鐘を鳴らすのは あなたあ〜♪）。

食事当番の生徒が全員分の食事を作り食器洗いまでやる。中学部の男の子たちが厨房で楽しそうにカラの大鍋を振り回していました(^_^)。高校部は高校部の当番が作ります。放送設備はありません。食事中に生徒が代わる代わる前に出て連絡事項を伝えます。肉声です。今年から新しく共学になったので制服もまだ決まっていません。私服の子もいればジャージの子もいる。高校生は「なんちゃって制服（制服っぽい服装）」の子が多かったです。制服は生徒が話し合って決めるのだそうです。まだ話し合っている最中だそうです。先生はサポート役に徹します。

昨年までは男子部と女子部に分かれていました。女子部では食事ではテーブルに肘をつかない、品のないおしゃべりはしないなど伝統的に形成されたルールがありました。

その躰が身についた中2〜高3の女子生徒は突然共学になって、男子生徒のだらしなさに辟易したそうです。やっぱり共学は嫌だ！という意見も相当出たそうです。

訪問したのは10月下旬ですので、女子生徒は男の子を嫉めなければならないと「食事時のルール」を教え込んでいるようです。それも

生徒たちの「どうすれば自分たちの問題を自分たちで解決できるか？」という活動から自然と（裏では先生のサポートが相当あるでしょうが。。。）生まれたことのようにです。その点、中学1年生は最初から共学なので屈託なく学校生活を送っているとのことでした。

高校1年生の女の子2人が学園内を案内していただきました。「最近良かったことは何？」って聞いてみました。学校のリーダーたち（生徒会役員）は年に3回変わるそうです。自分はみんなのために何をしたいか何を創りあげたいかを宣言するそうです。今回のその宣言に体が震えるほど感動したと話してくれました。その宣言、ぜひ聴いてみたかったです。

更科先生にその話をしたら今後はビデオに収めておいて、学校見学や説明会に来てくれた方々にお見せできるようにすると仰っていました。1人の子はおじいさまの薦めがあって北海道から自由学園に、もう1人の子は去年の合同学校説明会で自由学園に出会って「ここしかない！」と決めたそうです。

「学園をひとつの社会として、生徒自身が作る自治」。ルールって何？未来をどう創る？自由と好き勝手って何が違う？学校は何のためにあるの？なぜ学ぶの？普通ってどういうこと？話し合いに意味はあるの？どうしたら認め合えるの？多数決でいいの？

根源的な問題を一つ一つ考えながら行動を決めていきます。「知識だけでなく経験する。そして実感する。肌でサステナブル（持続可能）を感じます」。学校は大きな家族です。お互いに食事を作る世界一の給食。農作物の収穫の喜びは想像以上です。

「学校だけが学ぶところではない」。日常全てが教育です。「自分の生（いのち）を経営する学びから始めよう」。自由学園の創立者、羽仁もと子さんの言葉です。

自分の生（いのち）は自分で切り拓く。自分の生（いのち）を自分のために使う。自分の生（いのち）に責任を持つ。自分の生（いのち）が大切であるから相手の生（いのち）も同じように大切なんだ。

高2、高3生は「飛び級社会人」訪問した日はその初日と重なっていました。週に1回4ヶ月間もの間、職場体験に行きます。お世話になる45の企業・団体様をお迎えして学園内をご案内。交流を図っていました。ちょっとやっただけで終わらせない超本格インターンプログラムの初日でした。この仕掛け人は更科学園長。さすがアイデアマンです。こんな学校だからさっきの女の子が「ここしかない！」と言ったのも大きく頷けます。

懇親会には仲野さんと私、そして学園からは更科先生と広報室の3人の先生方がいらっしゃってくださいました。テーマは「自由学園の素晴らしさを世間にどう伝えたらよいか、どうしたらうまく伝わるか」でした。仲野さんも僕も、子どもたちや親御さまたち教育消費者の代弁者として率直な意見をたくさん述べさせていただきました。更科先生をはじめ自由学園のために少しでもなれたのであれば嬉しい限りです。

そうそう！この自由学園は最近注目されてきた大学受験の総合型選抜には最高の学校だと思いました。みなさんもぜひご見学を！百聞は一見に如かず。ご希望ございましたら再度見学会を企画いたします。寮もあります。生徒自身が運営する「学びのための寮」です。トイレは美しき最新型トイレでした。

2024（R6）年11月26日（火）記

「学びを通じて人と人とを繋げる私塾ネット」は全国をまたぐ最大級の学習塾民間団体です。今年設立24年目を迎えています。学びを広げ縁が深まることを目的に活動しております。皆さまのご協力に深く感謝しております。ありがとうございます！

報告

「理事長」系の活動報告 / 田中 宏道 (LAPIS鎌ヶ谷・千葉県)



昨年の宮島に続き、今年も真面目な研修旅行でした。真面目な皆様が真面目に参加いたしました。賛助会員さんにも呼びかけましたら、ありがたやあ〜！来てくれました、来てくれました！ライフイズテックの辻さん。FLENSの菊政さんです。

ライフイズテックさんは中高のプログラミング・情報Iの「つくりながら学べる」学習教材・デジタル教育を作成されている企業さんです。FLENSさんは、LINEと同形式のタイムラインのお知らせ配信など塾生保護者をファン化するスクールマネージャーなどを作成されています。(コミルさんよりおあいようです。)

朝11時までに広島・城先生の住む街大竹、そして下瀬美術館に行かねばなりません。決まった時間に動くのは私の性に合わず、また無駄に待つ時間が長いのも嫌なので、寝坊しても次便がある新幹線が好きです。とは言っても11時までに美術館に着くには千葉・鎌ヶ谷の始発4時57分に乗り品川に5時54分着。いっそいで歩いて品川始発6時ちょうどなのぞみ99号に乗る必要があります。

そんなに早く起きられる訳はありません。前日23時過ぎに仕事から自宅に戻り風呂に入ってしっかり夕食を摂って再び26時に出勤です。仕事が溜まっているのでちょうど良い！お陰さまで冬期講習の案内や塾通信が仕上がりました！ありがとうございます！

爆睡。気づけば名古屋。いつものお決まりパターンです。そこから広島はちょっと本を読んでいたらすぐに着いちゃいます。広島から快速に乗ってびゅ〜んと大竹。

下瀬美術館10時30分着！1週間ぶりの西本先生、お久しぶりの佐藤先生、林先生、吉長先生、増井先生が出迎えてくださいました！晩酌も朝酌もしていなかった私はおいしい〜ビーフシチューで一杯。うんまい！このままのんびりと構えていたのですがどうやらここは美術館。鑑賞するとのことでした。。。実は「どおせ」って思っていたんです。いんやあ〜たいへん失礼いたしました！下瀬美術館はホンモノでした！

特別展「エミール・ガレ没後120年＝ガレのある部屋 ジャポニズムからアールヌーボーへ」

常設展。第1の部屋「第14代今泉今右衛門」第二の部屋「絵画に見る花と器」第三の部屋「高村光雲と平櫛田中」第四の部屋「海と山を望む」。横山大観・シャガール・ゴッホ・ルノワール・ピカソ・片山球子・・・圧倒されました！

各部屋でしばらく佇んでいてあっという間に「出るよ！」のご指示。名残惜しゅう美術館を出た次第です。

ここまで調べ調べ書いて3時間が過ぎました。終わりが見えずに疲れちゃった。他の先生がいろいろ書いてくださることを期待して、すんまっせんがはしよります。

毎回エリア中国研修旅行では有益な情報満載でさまざまな話題が出ます。今回は。。。

1. 英検準2級の英作対策はどうすればよいか。
2. 坂の上の雲から始まり、たのきんトリオとイモ欽トリオ、そして

シブがき隊との相違、周防の回天記念館にはぜひ行くべきの話題。私は「た○きんトリオ」と口走ってしまい一瞬冷たい風が流れた件。

3. 子どもへの「お金の教育」。
 - 子どものころ父親の給料日には自分も母から給料をもらっていた。母が「はい今月の給料」と手渡してくれそこから家賃や食費や光熱費、被服費をそれぞれ母に支払いし残ったお金はわずかで大切に使わなきゃと思った。
 - ただ床屋さんに行くと散髪のたびに床屋さんがお小遣いを10円くれたので毎日喜んで床屋さんに行った。振り返ってもいれば散髪を嫌がる子どものために母が床屋さんにお金を預けていたのだと思う。
 - 床屋さんで貯めたお金で駄菓子屋さんにお菓子を発注していた。経営者としての能力はこのときについたかもしれない。
 - 大学時代は男はみんなピーピー、女性は金持ちばかりだった気がする。仕送りが来るとその日にほとんど使っちゃってたから。
4. お店の方が誤ってこぼしてしまい自分の服に少しかかったときの対応。「もう自分は汚れているから大丈夫」。
5. 「(食べ終わった食器) お済みのものをかたづけてもよろしいですか?」と尋ねられたときの対応。「みんな!もう帰ってことだよ。長居しちゃうダメ」。
6. 「岩国国際観光ホテル」での懇親会後のお部屋での勉強会では。。。小学生に算数の途中式はきちんと書かせるべきか?否か?がテーマとなりました。結論としては、丁寧に書かねばならない時とそうでない場合によるが、細かな丁寧さを求めて嫌な思いをさせるよりも小学生には気持ちよく楽しく算数に向かわせるのが良いとなりました。
7. 城先生の弾き語り LIVE。動画あり。自作の唄を弾き語っていたできました。素敵なショータイムでした。

深い学びのエリア中国研修旅行。みなさま来年ぜひ行きましょう！元気が出てきた。。。他にもあるんですよ。

下瀬美術館の後は山口・岩国に移動して、吉川資料館と岩国城下武家屋敷見学です。学習共同体河浜塾の Dr. 河浜の解説で毛利を支えた吉川家を学ぶ予定でした。しかし、河浜先生が一番残念だったとご拝察いたしますが、ご本人がどうしてもお越しになることができなくなり、代わりに総務部長の吉川先生にたいへんお世話になりました。吉川先生、ありがとうございます！

以前もエリア中国の研修会で岩国を訪れたことがあります。そのときは錦帯橋を渡り向こう岸でアイスを食べて帰りました。今回の再来までは錦帯橋は渡ったらアイスを食べて帰るところと思い込んでいました。いやいやこれまた失礼いたしました。広〜いんですね。山のてっぺんにお城もあったんですね。ケーブルカーもあって、からくり時計があって神社やお寺、天麩羅そばの美味しい茶屋、人気の甘味処、岩国シロヘビの館、岩国徴古館、旧岩国中学の校舎、目が不自由な洋画家は永昭宏さんの素敵な絵が飾ってある「いろやギャラリー」。。。ゆったり見るところ満載なのですね。錦帯橋、その日はライトアップではなく篝(かがり)火で美しく浮き上がっていました。

翌日11日(月)は夕方から東京で会合の予定でした。たまたまそれが無くなったので「そうだ!錦帯橋に行こう!」とゆっくり岩国を歩かせていただきました。そして錦川に足もつけました。足つけながら変顔して自撮りしていたら中学生が堪らなかったのでしょうか。笑い去っていきました。人に喜んでいただいて気分の良い一日を過ごせました。

白蛇の動画をご覧になりたい方は伝書鳩で田中までご連絡ください。

2024(R6)年11月24日(日)記
遅筆な僕はここまで4時間半(^_^)

私塾ネット紹介記事①
塾と教育(3月号)



学問とは人の人たる道を学ぶ事なり(徳川光圀)

全日本私塾教育ネットワーク(私塾ネット)
田中 宏道 理事長

「人を大切にする経営」神奈川 STEP 龍井先生に学ぶ」
龍井先生から直にお話を伺えるのは私塾ネットならではの楽しみでしょうか。STEPでは授業の質を向上させるための仕組みを整えています。STEPにはベテランは存在せず、教師は常に新人の気持ちで研鑽し「5年目の新人、10年目の新人、20年目の新人」と「初心忘るべからず」の精神を大切にされています。
当たり前のことを行うのは本当に難しいので

1. 4月東京 全国塾長・職員研修大会
「人を大切にする経営」神奈川 STEP 龍井先生に学ぶ」

3. 9月金沢「国際高等専門学校・金沢工業大学に学ぶ」
金沢工業大学は1962年(昭和37年)に建学綱領として「人間形成・技術革新・産学協同」を唱えています。今となっては普通かもしれませんが、学生紛争盛んな当時としては他校では全く考えられなかったことに違いありません。それを60数年貫き通し、教育方法も絶えず革新する。そのために事務スタッフも教育について勉強している姿には驚きました。事務スタッフも教員も1つのチームになって学生の教育に一生懸命になっていることが昨年のAPU(立命館アジ

2. 9月東京「自由学園に学ぶ」
池袋から15分。古いだけと美しい!昭和初期の映画の中の学校。うう。東京ドーム21個分の自然あふれる広大なキャンパス。木下野菜や花を育てる畑。東京都の指定有形文化財になっている様々な教室棟。別世界です。食事当番の生徒が全員の食事を作り食器洗いまでやります。中学部の男子たちが厨房で楽しそうに大鍋を振り回していました。どうすれば自分たちの問題を自分たちで解決できるかを常に学びます。大学受験の総合型選抜には最高の学校だと思っています。

ア太平洋大学」と共通していました。教育組織としてのあり方を学ばせていただきました。
4. そのほかのトピック

- ①10月 東京「エリア関東研修会」
「映像授業&オンライン授業の可能性」「理社の不養生」と題してオンライン授業の活用方法と理科社会の指導方針教える方について学びました。
- ②11月 広島・山口「エリア中国研修会」
昨年12月ユネスコの建築賞で美術館・博物館部門の最優秀賞・ベルサイユ賞を受賞した下瀬美術館を見学しました。その後は「錦帯橋・岩国ウォーク」で歴史の勉強です。
- ③12月 埼玉「さいたま市立大宮国際中等教育学校 訪問研修」
前年度の3月までに次年度の全科目、全授業の授業案とプリントができあがっており、そのプリントを使って全員が同じ授業をする。新任の先生も授業を作る必要はなく、授業の練習をすればいいだけなので自信を持って授業に臨んでいらっやいました。高度な標準化を成し遂げている教育組織を初めて見ました。
- ◆来る4月20日(日)東京「全国研修会 親子ともよい育ちへ変えよう!教育の当たり前」
学校法人西軽井沢学園創立者・理事長、行動分析学者 奥田健次様のご講演です。
全国各地からのご参加をお待ちしております。
◆毎月「塾人と大人のための歴史講座」池袋会場とオンライン&アーカイブ
新しい歴史教科書をつくる会副会長 藤岡信勝先生に毎月1回歴史を学んでいます。
6月1日(日)から第3期。古代から現代まで全40回の講座として再スタートです。

学習塾新年度の展望

理事長 田中 宏道

学習塾の活動を30余年にわたって支えてきた、全国私塾連盟、全日本私塾協会、日本私塾会の3団体が2001年に大同団結して発足した私塾ネット、全国をまたぐ最大の学習塾民間団体です。学びを通して人と人を繋ぐ私塾ネットも今年で設立はや25年目。前団体から数えると55年以上に渡り学習塾の活動を支えてまいりました。

私たちは教育に関わる方々を繋げるハブ(Hub)の役割をします。ハブ(Hub)は繋がり(ネットワーク)の中心です。繋がって情報や元気がもらう。相談する。人生の師に巡り会う。学び合う。その手助けをするのが私塾ネットです。

私塾ネット紹介記事② 私立中高受験ガイド

これまで「北朝鮮拉致被害者・蓮池薫さん」「感動・木下晴弘先生」「教育経済学・中室牧子先生」「教育コーチング」「大宮国際教育中等学校・自由学園見学」などさまざまな研修を行ってきました。

本年は、学校法人西軽井沢学園創立者・理事長、行動分析学者、奥田健次様に「親子ともによい育ち～変えよう！教育の当たり前～」、新しい歴史教科書をつくる会、藤岡信勝先生の「全40回 塾生・先生・大人のための歴史講座」を行います。

「学問とは人の人たる道を学ぶことなり」水戸光圀公のお言葉です。子どもたちが素敵に人として一流に育つように、我々教育を担う人間も学びを深めてまいります。

文化の森スクール 近藤誠介先生からいただいたイラスト集



「この夏、“食べる力”が子どもの集中力を守る！」

～親と塾でできる、小さなサポート～

アシェット 尾田衣子さん

夏休み、そして夏期講習——。子どもたちにとっても、親御さんや塾の先生にとっても、心身ともにエネルギーを使う季節がやってきます。普段より学習時間が長くなり、日差しも強く、生活リズムが乱れやすいこの時期。気づけば「イライラする」「集中できない」「すぐ疲れる」といった声が増えていませんか？実はこれらは、すべて“食”と関係しています。

食事は、子どもの脳と心を動かす燃料。ただ「ちゃんと食べている」だけでは足りず、「どんなものを・いつ・どう食べるか」によって、学びの質にも大きな差が出ることが分かっています。今回のコラムでは、家庭と塾の両方が無理なく取り入れられる「夏の食サポート」について、3つの視点からご紹介したいと思います。

1. 朝ごはんを“脳にスイッチ”を入れる

夏休みになると、どうしても朝がゆっくりになりますよね。すると「朝ごはんを食べない」「パンとジュースだけ」「食欲がないからバナナだけ」といった子が増えます。でも実は、朝の食事こそ、集中力の土台。脳のエネルギー源となる「ブドウ糖」は、寝ている間に使い果たされます。これを朝ごはんを補わないと、子どもたちは“エネルギー不足”のまま勉強に向かうことに。

▼理想の朝食は？

「ごはん+たんぱく質（卵・納豆・チーズなど）」がベース。これに野菜や果物、みそ汁などがあると◎。塾でも「朝食食べた？今日の朝は何だった？」と声かけをしていたら、子ども自身の意識も変わってきます。

2. 午後の“眠気とだるさ”は、お昼ごはんのせい？

「午後になると、眠そう」「なんだかぼーっとしている」そんな子どもたちの様子、夏期講習中に目にしませんか？それ、もしかしたらお昼ごはんの影響かもしれません。実は、炭水化物オンリーの昼食は眠気のもと。麺類やおにぎりだけでと血糖値が急上昇→急降下し、眠くなってしまうのです。

▼午後の集中力を守るには？

「ごはん+おかず+野菜」など、バランスの良い昼食を。おにぎりだけの子には、ゆで卵やチーズ、お味噌汁など「たんぱく質」をプラスするようにアドバイスすると効果的です。

3. おやつで“脳の疲れ”をリセット

夏の午後は、暑さと疲れで集中力が切れがちです。そんなとき、うまく活用したいのが「間食＝おやつ」。ただし、ジュースやスナック菓子では逆効果。糖分が多すぎると、逆にイライラや眠気を引き起こす原因にもなってしまいます。

▼おすすめおやつ例（10～15時がベスト）

- ・一口サイズのナッツや小魚
- ・チーズやゆで卵
- ・バナナ+牛乳
- ・おにぎり（小）
- ・カカオ70%以上のチョコレート



「小さな補食で集中力が回復するよ」という一言は、子どもたちにも親御さんにも喜ばれる情報です。

“食の話”は、信頼を深める小さなきっかけに

この時期、「最近、食欲がないみたいで…」「お昼ごはん、適当になっていて心配で…」といったお悩みをよく耳にします。そんなときこそ、“勉強と食事”を少しだけつなげてみるのがおすすめです。たとえば親御さんが、「集中できるように、たんぱく質を入れてみたよ」「お昼ごはんをしっかり食べると午後の授業が楽になるって聞いたよ」など、食事の中に応援の気持ちを込めて声をかけてみるだけでも、子どもたちにはじゅうぶん伝わります。保護者のちょっとしたひと言が、子どもたちの「頑張ろう」という気持ちを引き出し、塾での学びにも良い循環をもたらします。そして、塾の先生が「朝ごはん、ちゃんと食べてる？」とさりげなく聞いてくれたら、さらに心強い味方に。「食事」が勉強と地続きであることを、子ども自身が少しずつ意識できるようになります。「食べることも学力を支えるんだな」と思えたとき、保護者としての不安もやわらぎ、塾との信頼関係も深まっていくのではないのでしょうか。

食べたもので脳と心と体はつくられ、日々の集中力や感情にも大きな影響を与えます。だからこそ、勉強に力を注ぐこの夏、子どもたちにとって「食べること」はまさに“学びを支える武器”になるのです。無理をしなくても大丈夫。朝食を少しだけ意識する、昼食やおやつにたんぱく質をプラスする、声かけをひとつ変えてみる——。家庭でも、塾でも子どもを応援するすべての大人が“ちょっとだけ食に目を向ける”ことで、子どもたちのこの夏はもっと充実したものになります。

ぜひ、できることから一緒に始めてみて下さい。必ず成果は出るはずです。

●尾田衣子 プロフィール

料理研究家としてTV出演、料理本著書多数あり、分子栄養学アドバイザーの資格を持つ。分子栄養学の知識を応用し「栄養が成績に直結していること」を自らの子育て中に発見。現在は受験生の親子の食事を改善することで「やる気・集中力」が向上し成績UPへと導く「受験必勝フードサポーター」として活躍している。





Field Reports
現場レポート

大学の「いま」

2025
アロー総研より



「年内学力入試」解禁!!

2025年6月3日、文部科学省より全国の国公立大学の学長に対し、ひとつの通知が発せられました。文書の名称は「令和8年度大学入学選抜実施要項」。2026年度入試をどのように実施すべきかを記した文書であり、各大学は、この実施要項に従った入試を行わなければなりません。この実施要項で日本の大学入試は一変すると見られています。総合型選抜や学校推薦型選抜、いわゆる「年内入試」で早期に学力テストを行うことを条件付きでOKとしたからです。

と、ここまで読んで、何をもったいぶって書いているんだろうと思われた方も多いでしょう。実は、2025年度入試まで、2月1日より早く、学力テストを実施するのは「ルール違反」でした。小論文試験や面接試験、プレゼンテーションやグループディスカッションなどの試験は実施しても良い。しかし、学力テストは、2月1日から3月25日までに行うこと、昨年度の実施要項にはたしかにそのように記載されていました。年内に学力テストを行う「年内学力入試」は「禁じ手」だったのです。



文部科学省が「ルール違反」黙認

これはこれで、驚かれた方もいるかもしれません。近畿圏では「公募制推薦入試」といった名称で年内に学力テストを行う大学はいくらでもあります。「定番」と言っても良いぐらいです。関東圏でも、多くはありませんが、年内学力入試を導入している大学が少なからず存在します。また、「年内」ではありませんが、1月に一般選抜を実施する大学も珍しくありません。それらの大学は「ルール違反」をしていたのでしょうか？答えは「イエス」と言わざるを得ません。2月1日より早く学力テストを行うのは、実施要項違反であり、多くの大学が、さらには他ならぬ文部科学省が、長い間、「ルール違反」を黙認していたわけです。



学習塾・予備校は「大歓迎」

「ルール違反」への注目度を一気に高めたのは東洋大学でした。学校推薦型選抜（公募制）で、学力テストを実施することを発表。志願者数は約2万人に上りました。追随した大東文化大学や帝京大学、共立女子大学なども、志願者獲得に成功。年内学力入試は待ち望まれた入試であり、高校や学習塾・予備校側は「大歓迎」だったと言えるでしょう。

年内学力入試は、大学側にもメリットがあります。年明けまで受験勉強を続けた学生と比較すると、年内入試による入学者の学力不足は否めません。年内に学力入試を行えば、一定の学力を持った学生を、他大学に奪われる前に早期に囲い込むことができます。大学入試が変わる……そんな状況に「待った」をかけたのが、文部科学省でした。2月1日より前に学力テストを行うのは、実施要項に「違反している」というのです。いままで、さまざまな「ルール違反」を見逃し、放置しておいて、どうして、いまさらルールの「遵守」を求めるのか。手を振り上げた文部科学省と、理不尽な要求を突きつけられた大学。悶々とした状態がしばらく続きました。



「必ず組み合わせる」こと

年が明け、3月になって、実施要項を協議する「大学入学選抜協

議会」では、年内に学力テストを行うことを容認。調査書や推薦書に加え、小論文や面接、実技検査など多面的評価を組み合わせる、という条件付きで実施を認める方針を示し、今回の実施要項となった格好です。

実施要項では、2月1日よりも前に学力テストを実施する場合は、調査書等の出願書類に加え、「小論文・面接・実技検査等」または「志望理由書や学修計画書など志願者本人が記載する資料」と必ず組み合わせる丁寧に評価することを求めています。「必ず」組み合わせるよう念押しをしました。

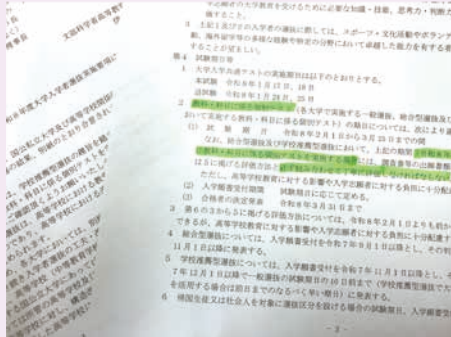
文部科学省では、年内学力入試の実施を発表している大学に対し、この条件の再確認を求めている、一部の大学では、入試内容の修正が必要となっています。さらに、今回は、近畿圏の大学についても例外を認めない姿勢だといえます。

いずれにしても、2026年度入試の受験生は、必ず入試要項など大学公式の情報媒体で最新の入試情報の確認をする必要があるでしょう。3月、4月に教育情報各社が発行した情報誌の記載を鵜呑みするのは危険です。



合格通知はクリスマスまでに

ちなみに、近畿圏では、年内学力入試で2校程度を受験、合格通知を手にして、年明けにより難度の高い大学の一般選抜を受験するスタイルが定着しており、関東圏でもこれが大学受験のスタンダードになっていくと見られます。年内学力入試「元年」が到来。多くの受験生が年内のクリスマスまでに、何らかの合格通知を手にする状況となるでしょう。年明けに受験勉強をしているのは、国公立大学と一部の難関大学の受験生のみ、という構図に変わります。受験カレンダーのこれまでにない早期化。学習塾・予備校の皆様も、これまでにない受験指導を探っていく必要があるのです。



6月3日に通知された「令和8年度大学入学選抜実施要項」が年内学力入試にGOサイン。一方で「小論文」の形式で学力テストを行うのはNGと釘を刺す記載も

アロー教育総合研究所

所長 / 田嶋 裕 (たじま・ゆたか)

1969年生まれ。95年早稲田大学法学部卒業。大手予備校、ラジオ局報道部記者を経て、アロー教育総合研究所に入所。大学入試の調査を担当。城西大学外部評価委員。



私塾ネット以外の学習塾団体イベントにも参加できます！

学習塾団体合同会議は、首都圏に本部を置く学習塾団体の連絡会議です。

前回の広報で代表幹事を代わるとお伝えしましたが、3月の会議で引き続き代表幹事を引き受ける事になりました。なお、私塾ネットから幹事として、私と柳田先生が出席していました。そして9月から長江センター事務局長が出席することになります。

さて、昨年度は研修会と学習塾団体合同忘年会を、学習塾団体合同会議単独で開催しましたが、2025年度は12/7開催の学習塾協同組合連合会の懇親会に忘年会を一緒にさせていただくことになりました。同日、エリア関東の研修会と忘年会が開催の予定があり、渡辺代表並びにエリア関東の皆様には迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学習塾団体のイベントを取りまとめ他団体及び団体に所属していない方も参加できるように努めています。学習塾団体合同会議のホームページからイベントを見ることができるようになっていますが、正直なところ各団体が行事を掲載しきれていません。引き続き頑張ってまいります。また、イベントの協力や共催にも努め、各団体の負担の軽減と会員の皆様へ役立つイベントを届けたいと考えています。

※公益社団法人全国学習塾協会・全国学習塾協同組合・NPO学習塾全国連合協議会・私塾協同組合連合会・茨城県学習塾協同組合・埼玉県私塾協同組合・東京私塾協同組合・神奈川県私塾協同組合・千葉県学習塾協同組合・全日本私塾教育ネットワーク

学習塾に通う子どもたちの未来、業界の健全な発展のために
学習塾団体合同会議



学習塾団体合同会議
代表幹事 鈴木正之



私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 長江 広紀 (英数学院・神奈川)



私塾ネットの活動にご理解で賛同いただいている賛助会員の皆さま、名誉会員を含む全国の会員の皆様、広報発送作業に従事された皆さま、場所を提供してくださるいぶき学院さま、いつもありがとうございます。日頃より我々の活動にご理解を示し

てくださるご家族・職員の皆様にも心より感謝申し上げます。

4月20日の全国塾長職員研修大会にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。久しぶりの再会で元気を頂きました！諸事情で参加できなかった皆さまも含め、また各エリアの研修等で近況を情報交換できましたら幸いです。同日に行われた代表者会議において、引き続き事務局局長の大任を仰せつかり

編集部員のひとりごと

私塾ネット広報は今回で88号になります。ここまで発行を積みかさねられてきた先輩方の気持ちや努力には本当に頭が下がる思いです。今号の88号からこれまでの冊子の形ではなくWEB版での発行になります。田中理事長兼編集長の元で新しい私塾ネット広報の歴史が作られていくことでしょう。執筆してくださった方、いつもお読みいただいている先生方にはこれからも変わらずお付き合いいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私の出身地である尾張地方や岐阜の美濃地方には「鮎味噌」という料理があります。先日、子どもの頃の釣りの話になったときに鮎味噌を作ったという話をしたところ驚いたことに千葉の人は鮎味噌を知らず、その時に初めて鮎味噌は郷土料理だと知りました。三方を海に囲まれ、三番瀬や盤州干潟、印旛沼を持ち、東京湾や太平洋のおいしい魚がすぐに手に入る環境の千葉の人たちにとっては、お城の堀や、池どころか

ました。今年で5年目になり、ご存じのように事務職タイプではないのですが、多くの方にサポートして頂きながらなんとかやってこられました。田中理事長の任期もあと1年となり、次の理事長との引き継ぎを事務面から滞りなく行うことが第一の責務だと考えています。エリア関東の役職も任期を終えましたので、一意専心して参ります。

エリア四国で我々の仲間が増えました。結城茂先生（愛媛県二神理数塾）です。十亀先生からのご紹介です。また賛助会員では(株)Manabesqueの田中龍之介様もご紹介します。“リカベスク”で理科専門講師を揃え映像授業を提供しています。田中様自身も生物科専門講師です。大学受験理科指導で困っている方、遠慮無く巻末の賛助会員一覧からお問合せください。

秀英ゼミナールSS教室 宮澤 歩

その辺の川で子供が釣るような鮎には全く興味がなくて、鮎を食べる事自体が驚きだったようです。地域性というか、お国が違うと習慣も違うというのは面白いですね。私塾ネットも全国組織。受験に向けての学校の選び方や、受験勉強の仕方、学力の伸ばし方も、じつはそれぞれ違いがあるのかもしれませんが。そんなお国の話（お国自慢を含めて）を会員の皆様から寄せていただけると、新しい私塾ネット広報がもっともっと活性化するのはないかと思っています。

友人に「わざわざ鮎の泥抜きをして食べなかったって、千葉にはおいしい新鮮な魚がいっぱいあるからねえ」と煽られました。悔しかったので「フランス料理を見ても、しっかり手を加えて料理するのは文明が豊かな証で、とってきた魚を切っただけとか焼いただけで食べているのは原始的なまま進歩していないのでは？」と煽り返してやりました。